

「韓国併合」100年事業

写真展、講演会のお知らせ

今年、日本が韓国を併合して100年となります。三十六年に及ぶ植民地支配は、政治的・軍事的背景の下、国と文化を奪い、民族の誇りを深く傷付けました。

菅総理大臣は植民地支配がもたらした多大の損害と苦痛に対し、改めて痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを表明しましたが、いまだに民族差別と人権侵害が根強く残っているのが現状です。

私たちは過去のあやまちを二度と繰り返すことのないよう、真実の歴史を若い世代に語り伝えていかなければなりません。とくに植民地支配を受けた人々と手を携えて、アジア太平洋地域、ひいては世界の平和を確かなものとしていくためには、なによりも、これらの諸国との間に深い理解と信頼にもとづいた関係を培っていくことが不可欠と考えます。

今回開催する写真展は1875年の江華島事件から、韓国併合、アジア太平洋戦争、戦後の朝鮮半島の歩みを経て、2002年日朝平壤宣言までの約130年間を一望する内容です。この100年の間日本が歩いてきた道を振り返り、これから歩いていく道を皆さんと共に考える場にしたいと思います。

多くの皆さんが私たちの趣旨に賛同され、写真展、講演会に参加されるようお願い申し上げます。

2010年9月

主 催：日韓併合100年事業実行委員会